

1 学校教育目標

『かしこく やさしく しなやかな 栗島の子』

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	・学力向上に取り組む学校 	・児童に寄り添う学校 	・体力向上に取り組む学校 
○児童・生徒像	・かしこい子  	・やさしい子 	・しなやかな子 
○教師像	・自己研鑽する教師 	・児童に寄り添う教師 	・児童と共に汗を流す教師 

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

全学年2クラスの12学級とコミュニケーションの教室「スマイル教室」の編成で児童数約320名のスタートである。昨年度で校舎内、教室の改修が終わり快適な生活環境となった。校庭や学年花壇には、どんぐりなど実のなる木々や草花、野菜が植えられ、ビオトープやミニ水田、スマイル農園を併設し、季節の移り変わりを実感できる。

組織的に全職員が統一した取り組みや指導を行い、全校で取り組んだ「詩の暗唱」や生活規律の「み・そ・あ・じ」は徐々に定着しつつあるが、「進んであいさつ」を更に深めたい。6年生による全校朝会の代表挨拶は、最上級生としての誇りと責任感を高め、学校の機動力となっている。

課題は学力向上と不登校である。学校全体で授業改善し、家庭学習を充実させる。家庭との連携をはかり様々な課題解決を図る。ICT環境を整え、教科や行事等の活動で指導や活用を更に進めていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	健やかな体の育成	○	○	○	○	○

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
授業力と基礎学力の向上		75%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	A I ドリルの活用	全学年・5教科	通年	A I ドリル等を利用し、個別最適な学び・基礎学習のための家庭学習の充実	家庭学習の提出	提出率 90%以上	自己評価の際に記入		
2 継	I C T 活用	全学年・5教科	毎日	① I C T 活用の授業実施 ② 児童のタブレット活用	週案、授業観察による確認	毎日の活用			
3 継	朝学習	全学年 国語(漢字) 算数(計算)	火(漢字) 水(計算) 金(詩文)	【体制】担任 【教材】新出漢字 ベーシックドリル 詩の暗唱ファイル	ワークテスト ベーシックテスト 詩の検定	取組内容の 80%定着が 80%以上			
4 継	補習指導 チャレンジ学習	全学年 国語・算数 A50% B目標値	毎週火曜 放課後	【体制】担任、副担任(専科) 【MIM、ワークテスト 2年～6年国語読み取り ベーシックドリル	ベーシックテスト A6割 B8割卒業	卒業テスト 12月と2月 5割の児童が 卒業			
5 継	夏休み 補充教室	全学年 国語・算数 正答率 50%未満	夏季休業 10日	【体制】低・高学年 担任 中学年 担任・専科 【目的】夏休み前の復習 【教材】ドリル・プリント	最終日テスト	正答率80%			
6 継	学力向上	低学年 中学年 国語・算数	通年	【目的】つまずき内容の解消 【教材】プリント等を利用した補充学習	卒業試験 校内委員会	対象児童ごとの達成基準			
7 継	教員の 授業力 向上	全教員	通年	若手教員 研修授業 10回 OJT 校内研究 研究授業 3回 模範授業参観	習熟度に応じた研究授業とアンケート	授業観察 ・肯定的評価 8割			

重点的な取組事項－２		豊かな人間性の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自己有用感を高める		肯定的評価80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
みそあじの徹底	みそあじを実行できた 肯定的評価を児童アンケートで80%以上	身だしなみ、掃除、挨拶、時間を守る項目について全校統一して指導をする。	自己評価の際に記入		
特別活動の充実	学校が楽しいと肯定的評価80%以上	係活動、委員会やクラブ活動の充実 行事に向けての目標と振り返り指導			
読書活動の推進	年間読書活動 全校で2.5万冊	読書旬間 読み聞かせ 調べる学習の指導 課題図書を紹介 お話会の実施 ブックトークやアニメーション			

重点的な取組事項－3		体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上		東京都体力調査の前年度比較	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策			
投力の向上	外遊びの励行 9割	担任と共に休み時間は外でドッジボールや鬼ごっこ等のクラス遊びを行う。			
体育授業の向上	OJT研修 6回	年間指導計画、体育環境整備 実技研修 (集団行動・表現・水泳指導 長縄・短縄・縄跳び・体力調査)			
体育朝会、集会の 充実	水泳授業の約束 短縄跳び週間 長縄跳び記録会	季節に応じた朝会や集会 毎月土曜授業日の 体育朝会10回			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他(学校教育活動全般について)

自己評価の際に記入